

〈目次〉

- サステナビリティに関する情報開示の考え方
- 編集方針
- 会社情報
- コーポレートミッション
- トップコミットメント
- サステナビリティへの取り組みのあゆみ
- 森永乳業のCSR**
- > 方針・考え方
- > 体制
  - ステークホルダーとコミュニケーション
  - 外部イニシアティブ・団体への加盟
  - 社外からの評価・表彰
- 7つの重要取組課題
  - 健康・栄養
  - 環境
  - 人権
  - 供給
  - 次世代育成
  - 人財育成
  - コーポレート・ガバナンス
- データ集
- 第三者保証
- GRIスタンダード対照表

# 森永乳業のCSR

## 方針・考え方

### CSRの考え方

森永乳業グループでは、CSRは経営理念を実現するためのすべての実務だと考えています。全従業員が自分ごととして実務に取り組むことで、「笑顔あふれる豊かな社会づくり」に貢献していきます。

## 体制

### CSR推進体制

森永乳業は、社長を委員長とするCSR委員会のもと、グループ全体でCSR活動を推進しています。2016年には、全社横断的機能を果たす専門部署として、CSR推進部を設置し、CSR活動の整備、各部署における活動の横串機能を強化、CSRに関する経営課題に全社レベルで取り組む体制を構築しています。社内への十分な情報発信と共有をはかることで、CSRの考え方を全社に浸透させていきます。

CSR委員会は、取締役会の機能を補強するために設置され、ESG（環境・社会・ガバナンス）の観点からサステナブルな社会を実現するために取り組むべき検討項目を洗い出し、対応、進捗、確認を含む議論をしています。

### CSR委員会

社長を委員長とし、役員、関係部署の部長および委員長が指名する者を委員として構成し、事務局はCSR推進部が務めています。定例委員会は原則として半年に1回開催しています。

### CSR推進部

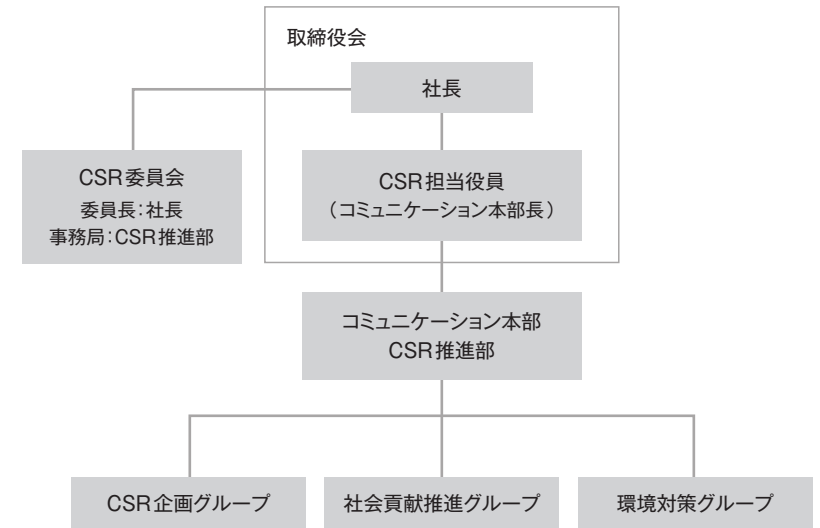
CSR企画グループ、社会貢献推進グループ、環境対策グループで構成されます。

CSR企画グループ：ESG（非財務）情報の発信、企業文化・組織風土改善施策の立案、実施および推進

社会貢献推進グループ：工場見学や食育などの社会貢献活動の推進

環境対策グループ：全社的な環境対策の推進、ISO14001環境マネジメントシステムの運用・管理

### CSR推進体制



〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の  
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

トップコミットメント

サステナビリティへの取り組みのあゆみ

**森永乳業のCSR**

方針・考え方  
体制

＞ **ステークホルダーとコミュニケーション**

外部イニシアティブ・団体への加盟  
社外からの評価・表彰

**7つの重要取組課題**

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

データ集

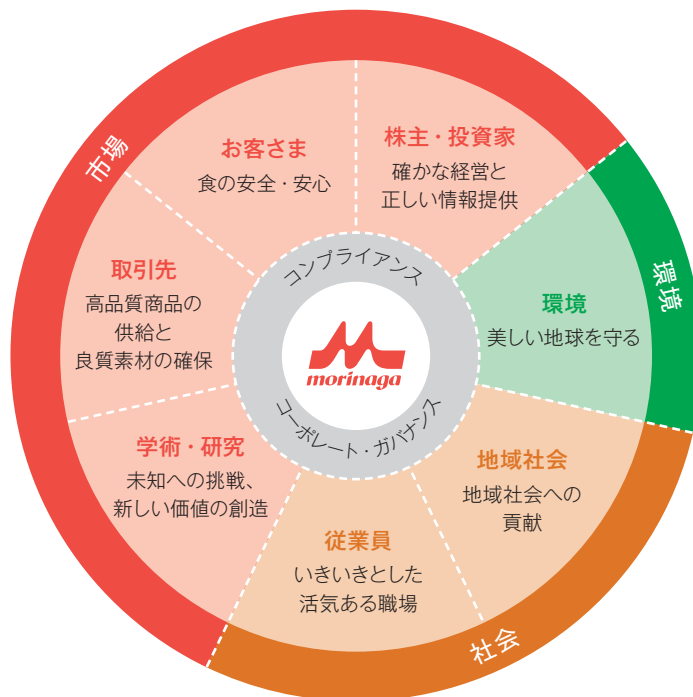
第三者保証

GRIスタンダード対照表

**ステークホルダーとコミュニケーション**

**共感の輪**

森永乳業は、7つのステークホルダーに共感の輪を広げることを企業活動の基本とし、それぞれのステークホルダーとの関係において取り組むべきテーマを掲げています。



**コミュニケーションの方法**

森永乳業は各ステークホルダーについて、以下の方法を使用してコミュニケーションを行っています。

ステークホルダー	コミュニケーション方法と実績
お客さま	①お客さま相談室 ②顧客満足度アンケート調査 ③エンゼル110番 ④森と食の探検隊などの社会貢献活動
株主・投資家	①株主総会 議決権行使数：420,112 ②個人投資家説明会 開催数：4回 決算説明会 開催数：2回 ③IRサイトでの情報発信
取引先	①CSR調達アンケート ②品質向上勉強会・物流勉強会 ③調達先説明会
学術・研究	共同研究・学会発表
従業員	①生き生きサーベイ（従業員満足度調査） ②キャリア調査 ③夢共創フォーラムを通じての対話
地域社会	①工場見学 2018年度来場者数：3万名 ②環境清掃活動や催事への参加 2018年度参加者数：12,758名
環境	①認証原材料の使用 ②環境業界団体の協力と協働 ③工場での周辺清掃

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の  
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

トップコミットメント

サステナビリティへの取り組みのあゆみ

森永乳業のCSR

方針・考え方

体制

ステークホルダーとコミュニケーション

&gt; 外部イニシアティブ・団体への加盟

&gt; 社外からの評価・表彰

7つの重要取組課題

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

データ集

第三者保証

GRIスタンダード対照表

## 外部イニシアティブ・団体への加盟

森永乳業はサステナブルな社会の実現のため、さまざまなステークホルダーと対話・協働しています。

グローバルでは、2018年4月に国連の提唱する人権の保護、不当な労働の排除、環境への対応、そして腐敗の防止に関わる10の原則に賛同し、「国連グローバル・コンパクト」に署名しました。



また、原材料として使用している「パーム油」「パーム核油」においては、調達方針に基づき、2018年3月にRSPO (Roundtable on Sustainable Palm Oil: 持続可能なパーム油のための円卓会議) に加盟しました。また、2019年4月には、「持続可能なパーム油ネットワーク (JaSPON)」に参加し、理事に就任しました。これからも引き続き、持続可能なパーム油の購入を行っていきます。



日本国内においては、牛乳乳製品の品質・生産技術の向上、酪農乳業の発展などに寄与するため、一般社団法人日本乳業協会ならびに全国牛乳容器環境協議会にて2018年度に会長職を務め、一般社団法人Jミルクにて理事を務めています。

## 社外からの評価・表彰

## 格付け評価

森永乳業は、持続可能な社会の実現に向けた活動を推進している企業グループとして、さまざまな外部機関より高く評価されています。

## 日本政策投資銀行より「DBJ環境」最高ランクの格付けを取得（2019）

株式会社日本政策投資銀行（以下、DBJ）の融資メニューである「DBJ環境格付」において、環境への取り組みに優れた企業に与えられる最高ランクの格付けを取得しました。

## 「SNAM サステナビリティインデックス」の構成銘柄に選定（2018）

2012年8月から運用が開始された「SNAMサステナブル運用」は、ESG（環境・社会・ガバナンス）の評価が高い企業に幅広く投資する、年金基金・機関投資家向けの運用プロダクトです。

森永乳業は2018年に初めて構成銘柄に選ばれました。

## 日本政策投資銀行より「DBJ BCM 格付」の格付けを取得（2017）

株式会社日本政策投資銀行（以下、DBJ）が防災および事業継続への取り組みが優れている企業に与える「DBJ BCM 格付」を取得しました。

森永乳業は2017年に初めて取得しました。

## 日本政策投資銀行より「DBJ 健康経営格付」最高ランクの格付けを取得（2016）

株式会社日本政策投資銀行（以下、DBJ）の融資メニューである「DBJ 健康経営格付」において、従業員の健康配慮への取り組みに優れた企業に与えられる最高ランクの格付けを取得しました。

## 〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の  
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

トップコミットメント

サステナビリティへの取り組みのあゆみ

森永乳業のCSR

方針・考え方

体制

ステークホルダーとコミュニケーション

外部イニシアティブ・団体への加盟

＞ 社外からの評価・表彰

7つの重要取組課題

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

データ集

第三者保証

GRIスタンダード対照表

## 表彰

森永乳業は、商品の品質や研究活動、社会活動について、さまざまな外部機関より表彰をいただいています。

「濃密ギリシャヨーグルト パルテノ プレーン砂糖不使用/プレーン加糖」が、「iTQi (国際味覚審査機構) 2018」で「優秀味覚賞“二ツ星”」を受賞

食品や飲料品の味覚と品質を国際的に評価するコンテストにおいて、「濃密ギリシャヨーグルト パルテノ プレーン砂糖不使用/プレーン加糖」が“特記に値する”と認められた商品に贈られる優秀味覚賞“二ツ星”を受賞しました。



「アロエステロール」の研究開発の成果である、「アロエベラ由来植物ステロールの新規保健機能研究と機能性食品への応用」が、「日本栄養・食糧学会」で「平成30年度技術賞」を受賞しました

15年におよぶ当社の研究の中で、「アロエステロール」には抗肥満、抗糖尿病などの作用に加え、皮膚機能の改善効果があることを確認しています。また、肌の健康に貢献できるような、ヨーグルトなどの「アロエステロール」を配合した機能性食品への応用も進めています。

「森永リトルエンゼル育成 森と食の探検隊」が、文部科学省主催「青少年の体験活動推進企業表彰」で「審査委員会奨励賞」を受賞

「体験活動は人づくりの原点」として、子どもたちの「生き抜く力」を育む企業の社会貢献活動を表彰するものです。

「長期保存可能な豆腐の開発及びおからの飼料化」が、一般社団法人日本有機資源協会主催「第5回食品産業もったいない大賞」(協賛：農林水産省、後援：環境省・消費者庁)で「審査委員会委員長賞」を受賞

無菌充填技術により豆腐の長期保存を可能にしたことで、海外での販売・災害時の備蓄品としての活用など新たな市場を創造しており、その点を高く評価いただきました。

また豆腐製造時に出た「おから」を有効活用するため、「おから」に乳酸菌を混ぜ発酵させることで風味良好なサイレージ飼料をつくり、関係会社の森永酪農販売が販売しています。

「クラフト 無垢 大人の熟成チェダー味」と「クラフト 無垢 大人の熟成ゴータ味」が、「iTQi (国際味覚審査機構) 2018」で「優秀味覚賞“三ツ星”」と「優秀味覚賞“二ツ星”」を受賞しました

食品や飲料品の味覚と品質を国際的に評価するコンテストにおいて、「クラフト 無垢 大人の熟成チェダー味」が“極めて優秀”と認められた商品に贈られる最高レベルの優秀味覚賞“三ツ星”を、また、「クラフト 無垢 大人の熟成ゴータ味」が“特記に値する”と認められた商品に贈られる優秀味覚賞“二ツ星”を受賞しました。



「アニュアルレポート」が、「International ARC Awards 2018」の Traditional Annual Report部門で「金賞」を受賞

世界最大規模のアニュアルレポートコンペティションである「International ARC Awards 2018」の Traditional Annual Report部門にて、Gold (金賞)を受賞。当社が初めて発行した2015年度版に続き、3年連続での受賞となりました。